



山田マシントール（東京都台東区、山田雅英社長、03・3834・5046）が2009年春に開設した初の海外拠点、タイ・チョンブリ県の現地法人が軌道に乗り始めた。

マーキング装置

タイで好評、追加点狙う

きっかけは日系トラックメーカーのタイ現地工場に、車体番号を刻印するマーキング装置（写真）を納めたことだ。装置の核となる部品は日本

ファイル いい話

から取り寄せ、組み立てや制御は現地の日系メーカーに委託。日本から完成品を輸出するより、「3割弱のコスト削減を実現した」（山田社長）。現地メーカーの装置と

山田マシントール

比べ、故障しない高品質が評価され、追加注文を獲得。他の日系自動車メーカーやエアコンメーカーからも引き合いがあり、これまで十数台の受注を得ている。

現地法人は刻印機に並ぶ柱として輸入工具の販売も手がける。タイのモノづくりが品質を重視する傾向に変化しつつあると見ており、山田社長は「日本から営業を出張させ、高品質の輸入工具の販売も軌道に乗せたい」と追加点を狙う。